

株式会社アバールデータ

2013年3月期 決算説明会

(2013年5月16日 サンケイプラザ 310号室)



会社概要と業績報告

中期経営計画概要

ご報告内容

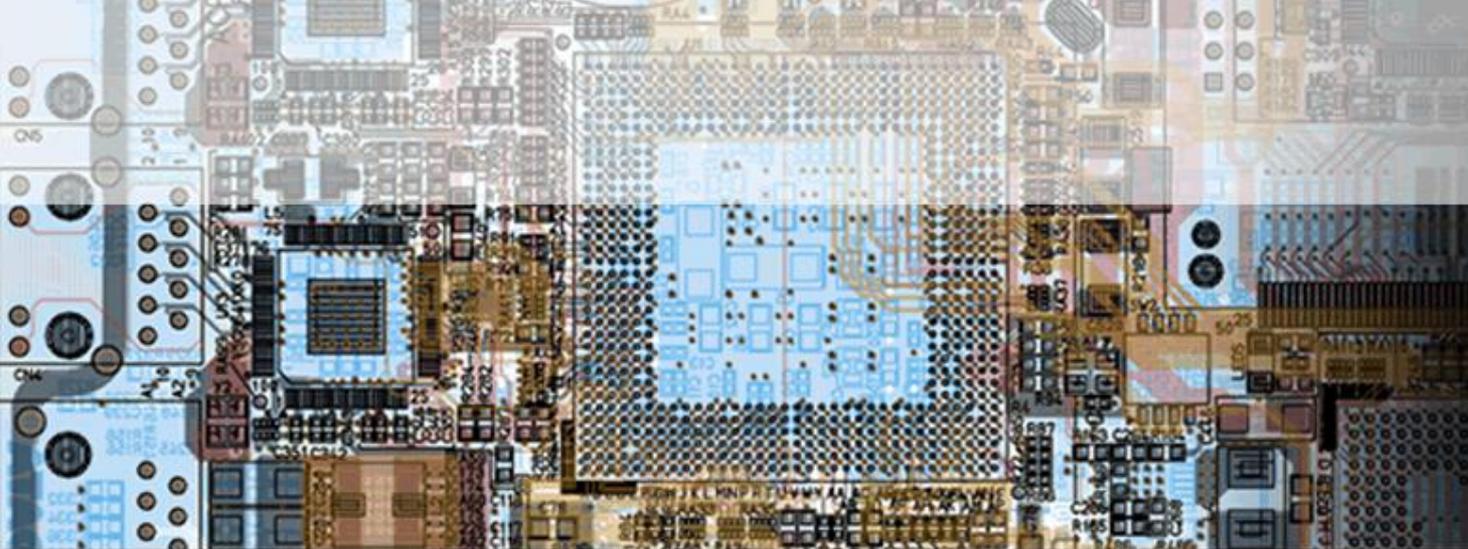
1. 会社概要
- 2 2013年3月期 (第54期) 業績報告
2014年3月期 (第55期) 業績予想
3. 2013年 中期経営計画概要
4. 参考資料

2013年5月16日

(CPP-1305-A)

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。



株式会社アバールデータ 会社概要 2013年3月期



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

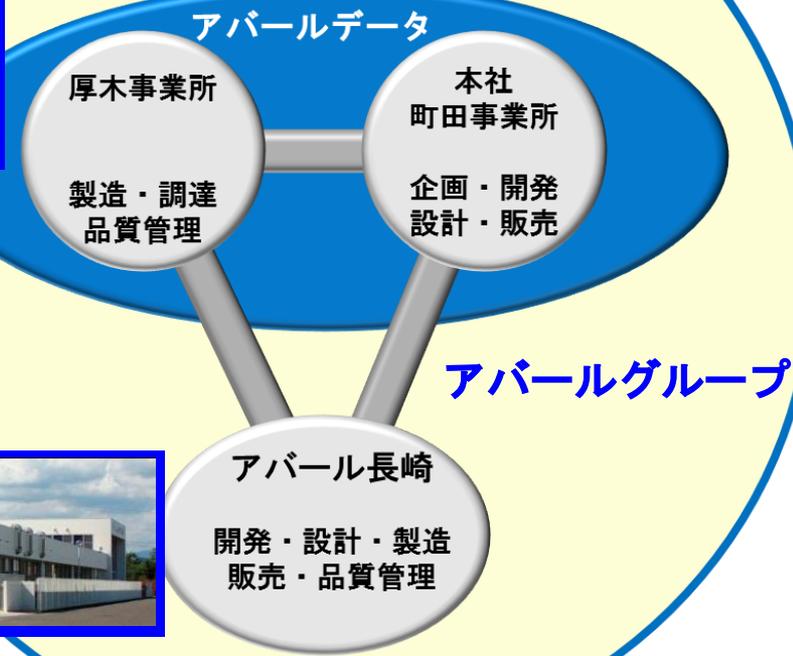
株式会社アバールデータ

本社・町田事業所 東京都町田市旭町 1-25-10
 厚木事業所 神奈川県厚木市金田 1041
 代表取締役 嶋村 清
 会社設立 1959年8月
 資本金 23億5,409万円
 従業員 175名
 JASDAQ店頭公開 1991年
 ISO9001認証取得 1995年
 ISO14001認証取得 2001年



株式会社アバール長崎

本社 長崎県諫早市津久葉町6-42
 情報機器営業部 神奈川県厚木市中町4-10-2
 代表取締役 川浪 義光
 会社設立 1987年11月
 資本金 1億3,400万円
 従業員 125名
 ISO9001認証取得 1996年
 ISO14001認証取得 2006年



沿革

- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立
- 1979 ○ 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表
- 1987 ● 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
- 1988 ○ 画像処理製品の開発プロジェクトを発足
- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更
- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録(現JASDAQ)
- 1996 ○ (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化
- 2002 ○ 高速光通信Giga Channelを独自企画、販売開始
- 2007 ○ PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組込みと単体のサンプル出荷開始
- 2010 ○ (株)アバール長崎:「スマートパワーシステム」シリーズ、販売開始
- 2010 ○ PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組込み開始
- 2011 ○ 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始
- 2012 ○ 超高速光通信カメラインターフェースOpt-C:Linkを独自企画、販売開始

関連事業分野と利用製品

世の中の商品とつながっているアバールデータの製品

アバールグループ



アバールグループの製品

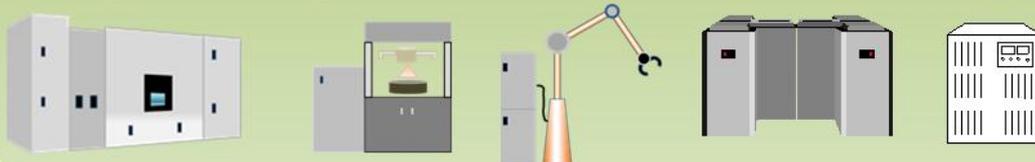
半導体/液晶
製造装置

検査装置
計測機器

F A 用
制御機器

通信機器
関連機器

電力/鉄道
省エネ機器



アバールグループの製品が組込まれた機器(製造装置)

スマートフォン

PC

TV

車



半導体/液晶

アバールグループの製品が組込まれた機器で製造された製品(最終製品)

産業用装置

高信頼性(止まらない)

高速性(大容量のデータ)

長期供給(製品寿命)



さまざまな使用環境

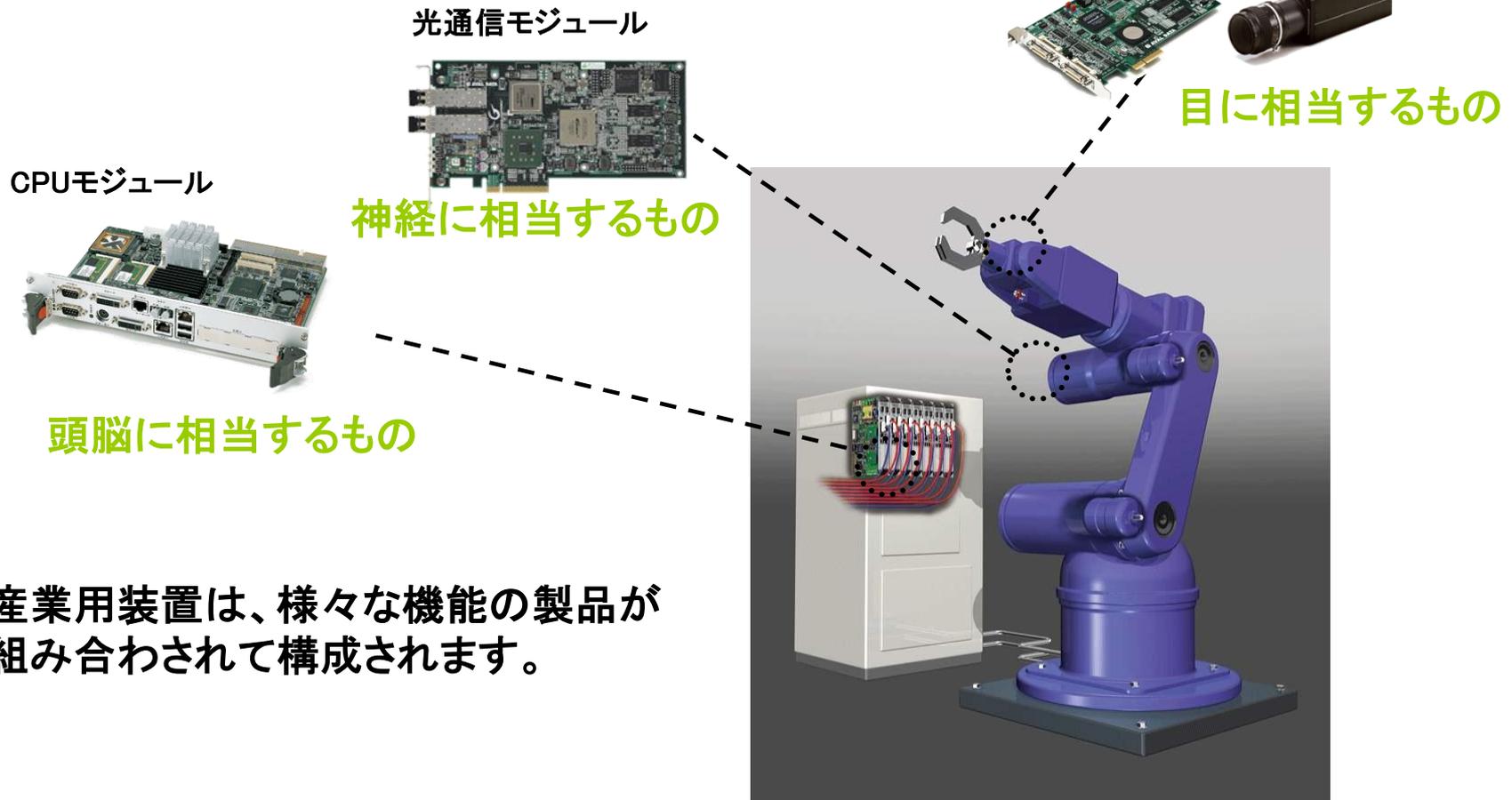
24時間フル稼働

長期間運用(15年~30年)

工場・公共施設等

「組み込み」とは

アバルデータは組み込み分野の製品を販売しているのですが、
そもそも「**組み込み**」とは。



産業用装置は、様々な機能の製品が
組み合わされて構成されます。

自社製品の種類

組み込みモジュール

組み込み分野で業界をリードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機で活躍しています。

画像モジュール

画像処理ボードで国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使用します。

計測通信機器

産業用通信で最高速を誇るGigaチャンネル



機器間の高速通信に使われます。

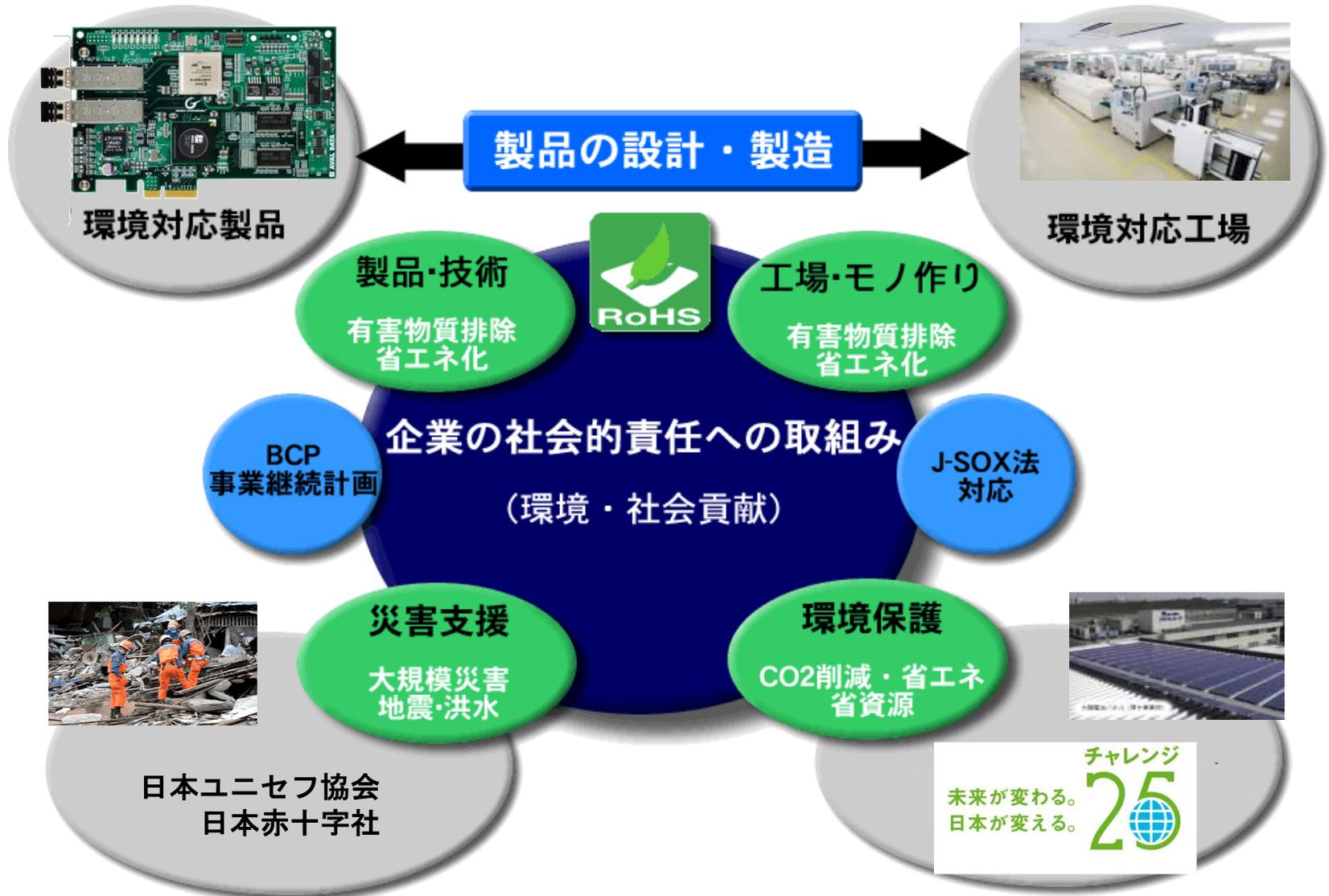
国内市場をリードするCT技術と製品

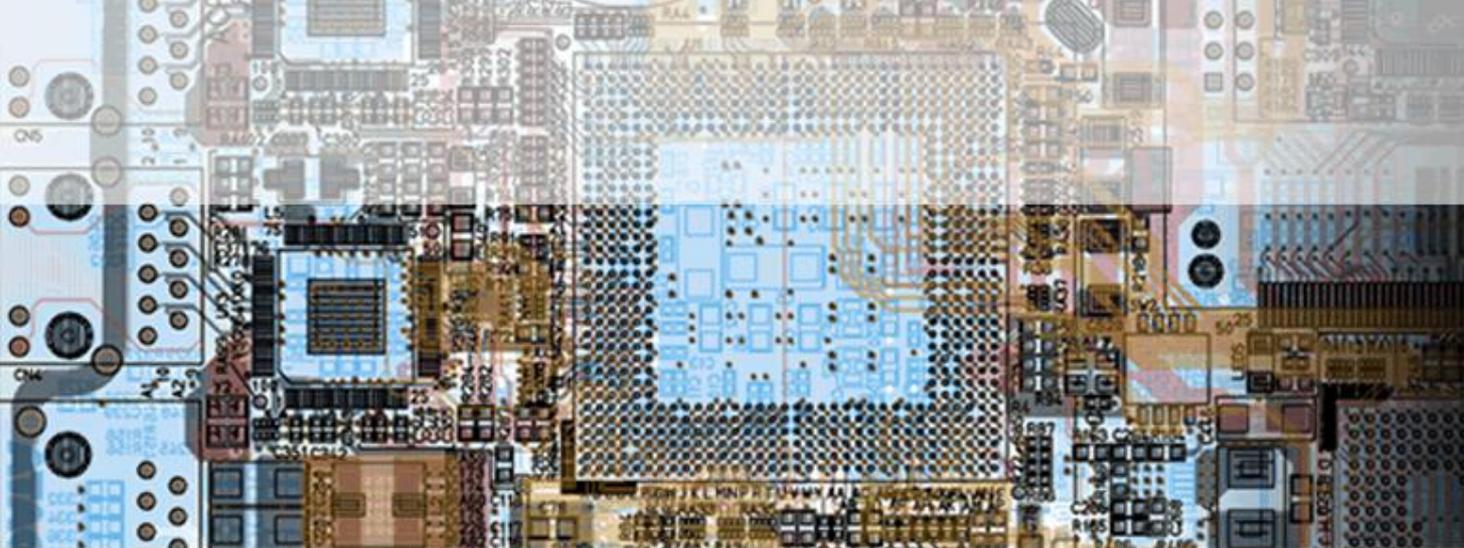


FAX,コールセンター等で使われています。



CSR経営（企業の社会的責任への対応）





2013年3月期（第54期）業績報告
2014年3月期（第55期）業績予想

2013年3月期（第54期）業績報告
[期間：2012年4月1日-2013年3月31日]

2014年3月期（第55期）業績予想
[期間：2013年4月1日-2014年3月31日]

2013年3月期 業績(連結)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

品目 / 項目		2013年3月期(第54期)通期実績			
		連結		個別	
セグメント	品目	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率
自社製品	組込モジュール	413	△30.0%	422	△29.3%
	画像処理モジュール	488	△22.1%	488	△22.1%
	計測通信機器	767	△11.9%	328	△25.6%
	自社製品関連商品	120	△5.9%	94	△14.5%
	小計	1,788	△24.2%	1,333	△24.9%
	セグメント利益	112	△71.3%	—	—
受託製品	半導体製造装置関連	1,626	△44.5%	1,239	△46.9%
	産業用制御機器	723	2.1%	113	△40.6%
	計測機器	834	19.1%	332	32.5%
	小計	3,173	△26.8%	1,684	△39.3%
	セグメント利益	341	△46.4%	—	—
売上合計		4,961	△24.2%	3,017	△33.7%
営業利益		3	△99.4%	△46	—
経常利益		65	△88.9%	28	△94.5%
当期純利益		18	△95.6%	14	△96.3%

(注) 連結各セグメント利益合計453百万円と営業利益3百万円との差額450百万円はセグメントに属さない全社費用等。

2013年3月期 品目別売上高の状況(自社製品)

2,500

2,214

2,000

1,788

1,500

413

1,000

488

500

767

0

120

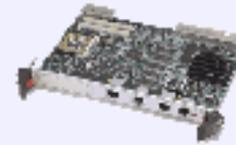
第53期 第54期
2011年度 2012年度
通期 通期

自社製品・品目別売上 11
単位:百万円

◆ 組み込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般及び半導体製造装置関連の受注が減少し、売上高は大幅に減少。

→売上高 412百万円(前年同期比30.0%減)



◆ 画像処理モジュール分野(自社製品)

- 新製品の立ち上がりに加え、新分野での営業開拓が順調に進んだ一方、FA全般及び液晶関連装置が低迷。

→売上高 487百万円(前年同期比22.1%減)



◆ 計測通信機器分野(自社製品)

- 超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、新規ユーザの開拓が大きく貢献。CTIおよびリモート監視装置が好調に推移
- 後半よりスマートフォン伸び悩みに伴い減少

→売上高 767百万円(前年同期比11.9%減)

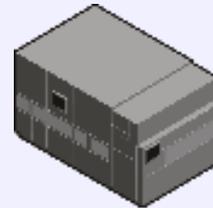
◆ 商品(自社製品関連)

- 自社製品関連商品は、大口受注の減少により、売上高は減少。

→売上高 120百万円(前年同期比5.9%減)

◆ 半導体製造装置関連分野(受託製品)

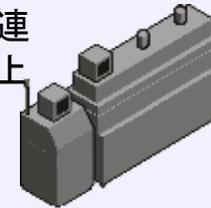
- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続き、最先端の半導体製造装置への設備投資が一部で行われたが、全体的な回復に至っておらず、売上高は大幅に減少。



→売上高 1,626百万円(前年同期比44.5%減)

◆ 産業用制御機器分野(受託製品)

- 各種産業用検査装置が低迷しましたが、社会インフラ関連が復興需要等により堅調に推移し、回復基調に転じ、売上高は増加。

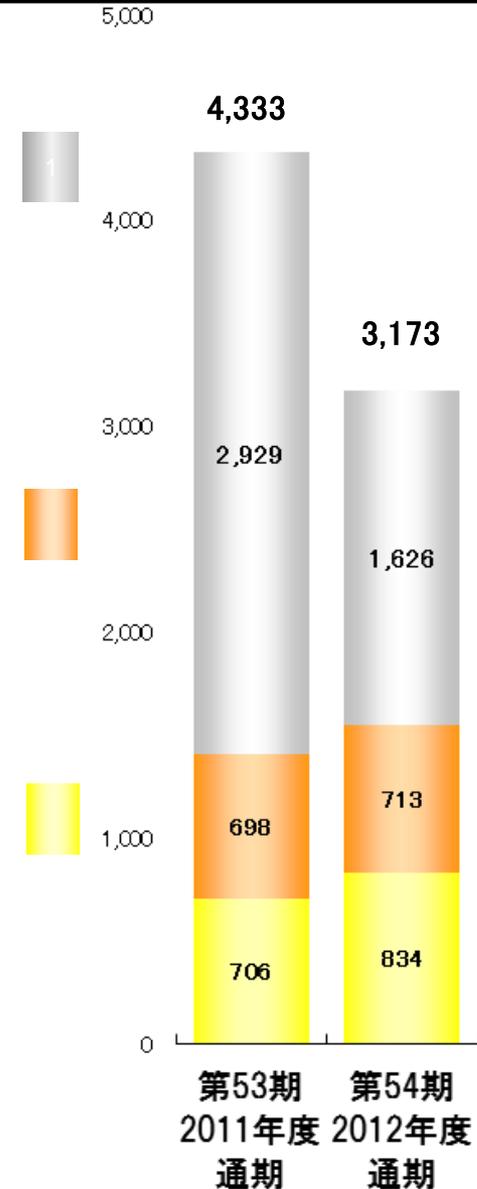


→売上高 712百万円(前年同期比2.1%増)

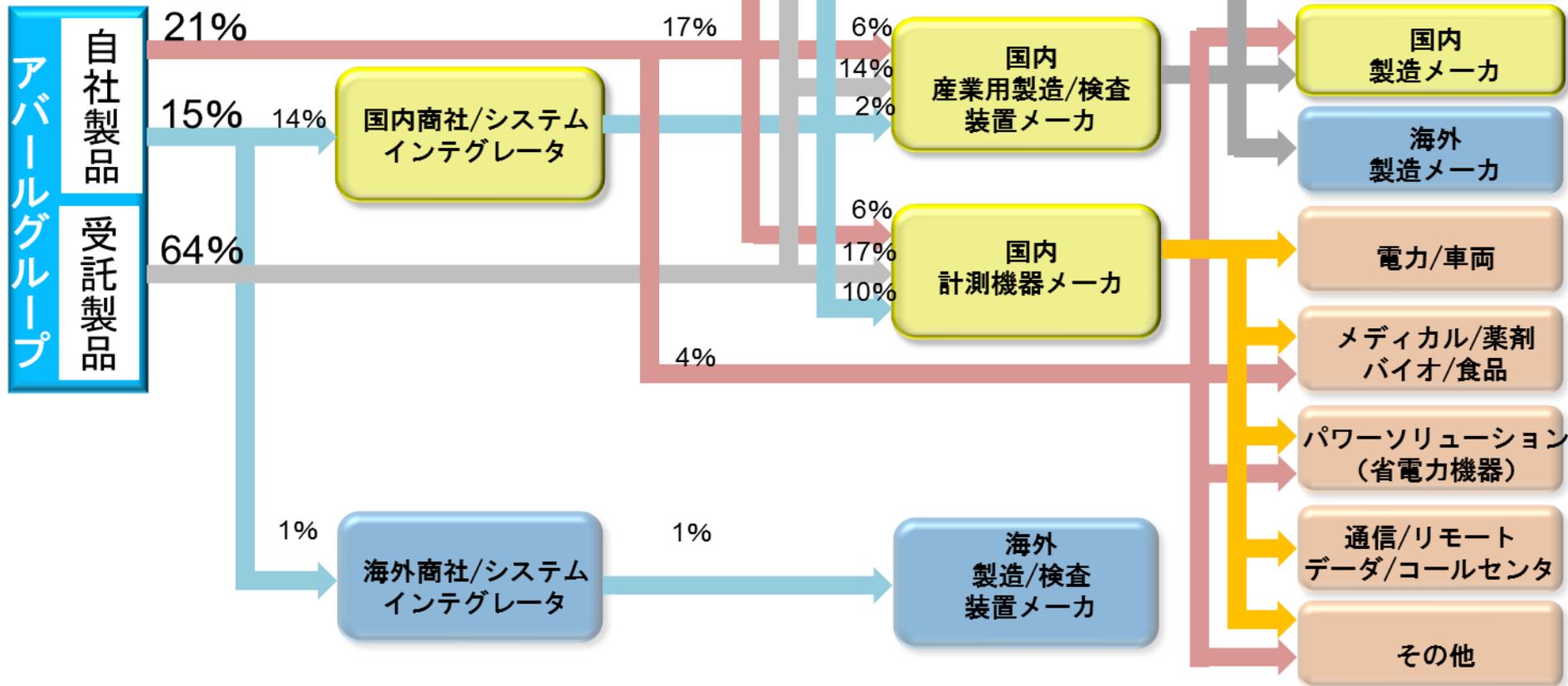
◆ 計測機器分野(受託製品)

- 主力の電力関連機器全般が堅調であることに加え、各種計測機器の受注が好調に推移し、売上高は増加。

→売上高 834百万円(前年同期比18.1%増)

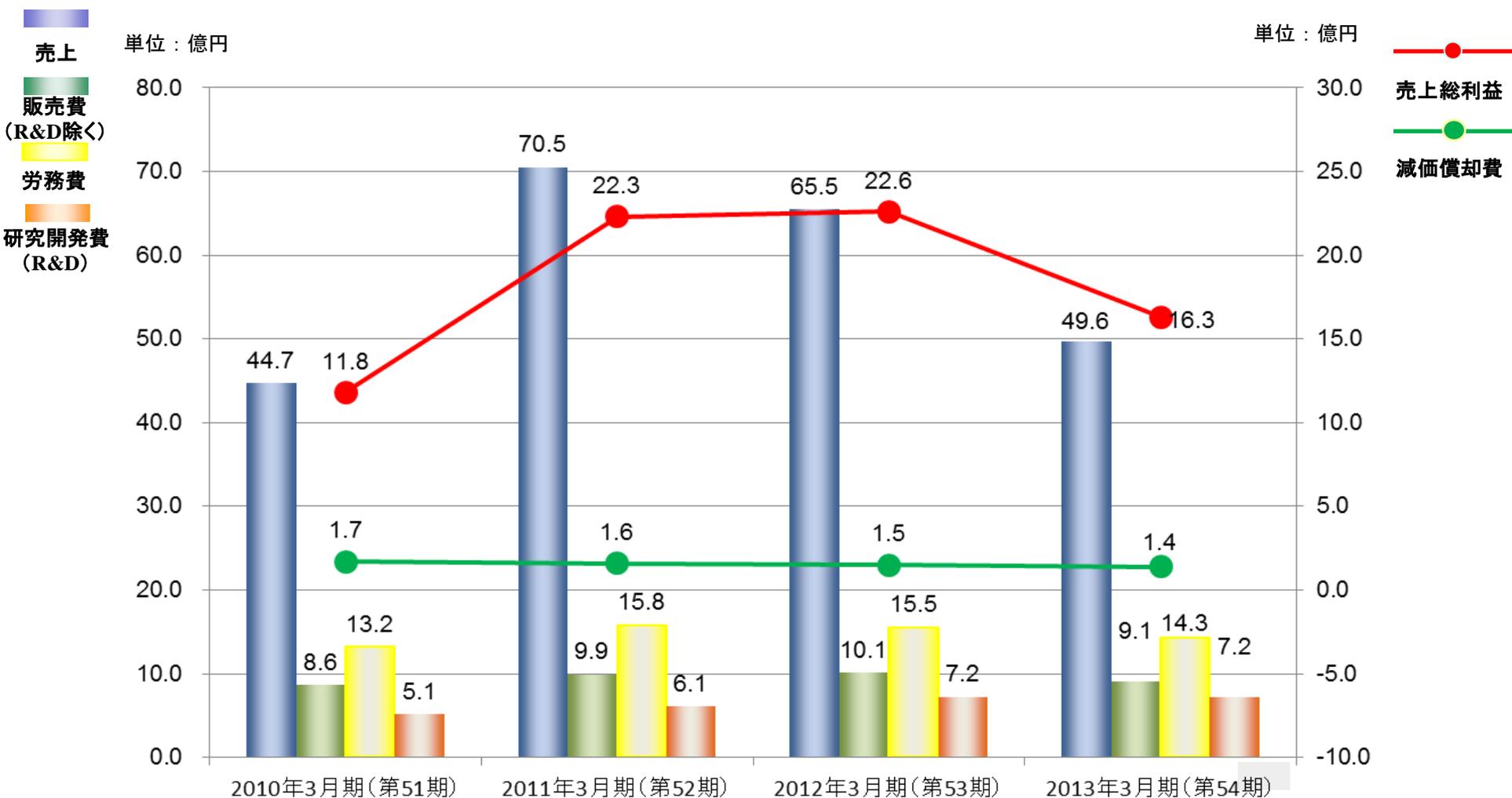


売上合計 4,961百万円
 自社製品 1,788百万円(36%)
 受託製品 3,173百万円(64%)



2013年3月期 業績（経営成績）

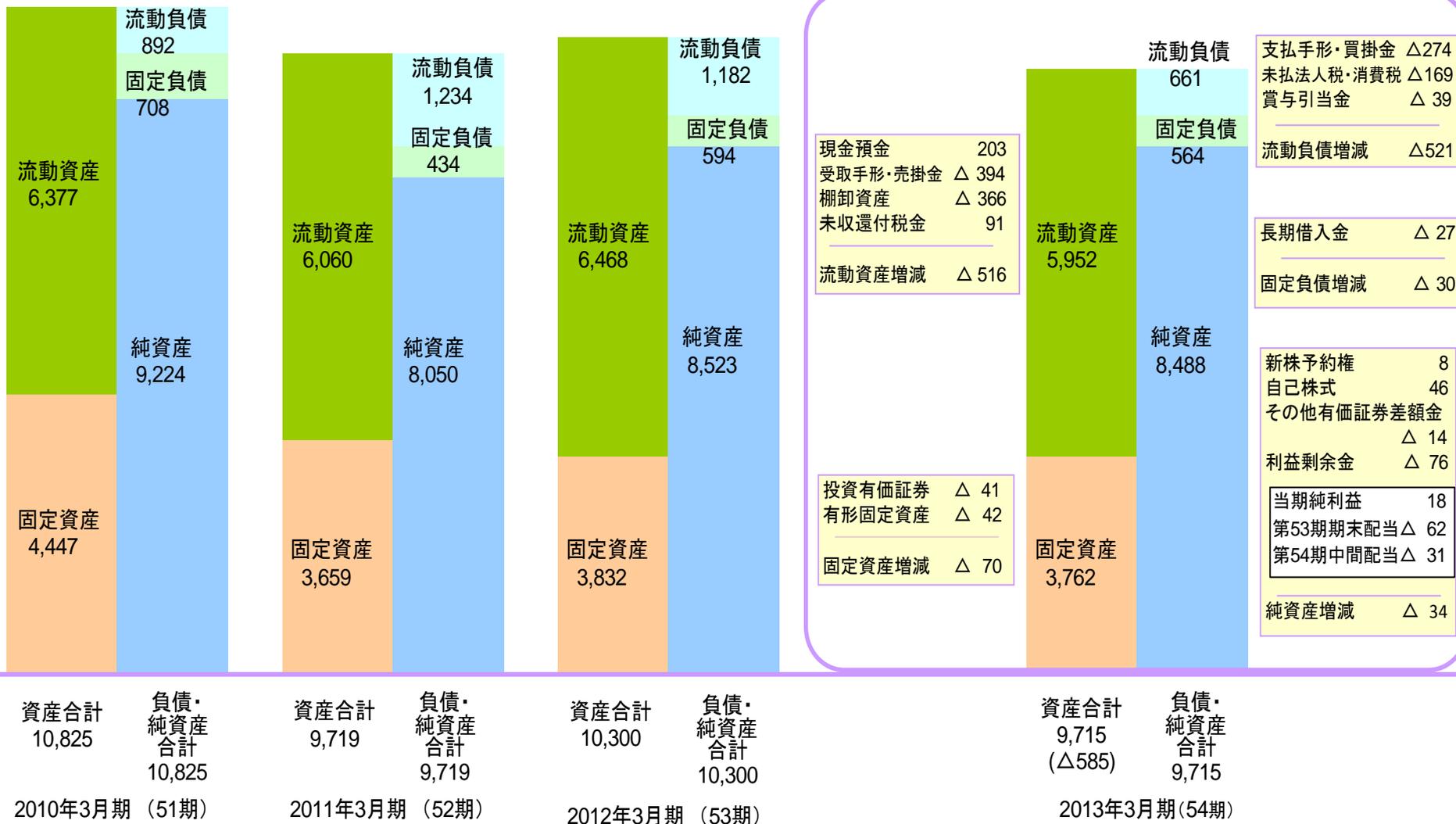
2010年3月期(第51期)－2013年3月期(第54期)実績



2013年3月期 業績（財政状態）

2010年3月期(第51期) — 2013年3月期(第54期)

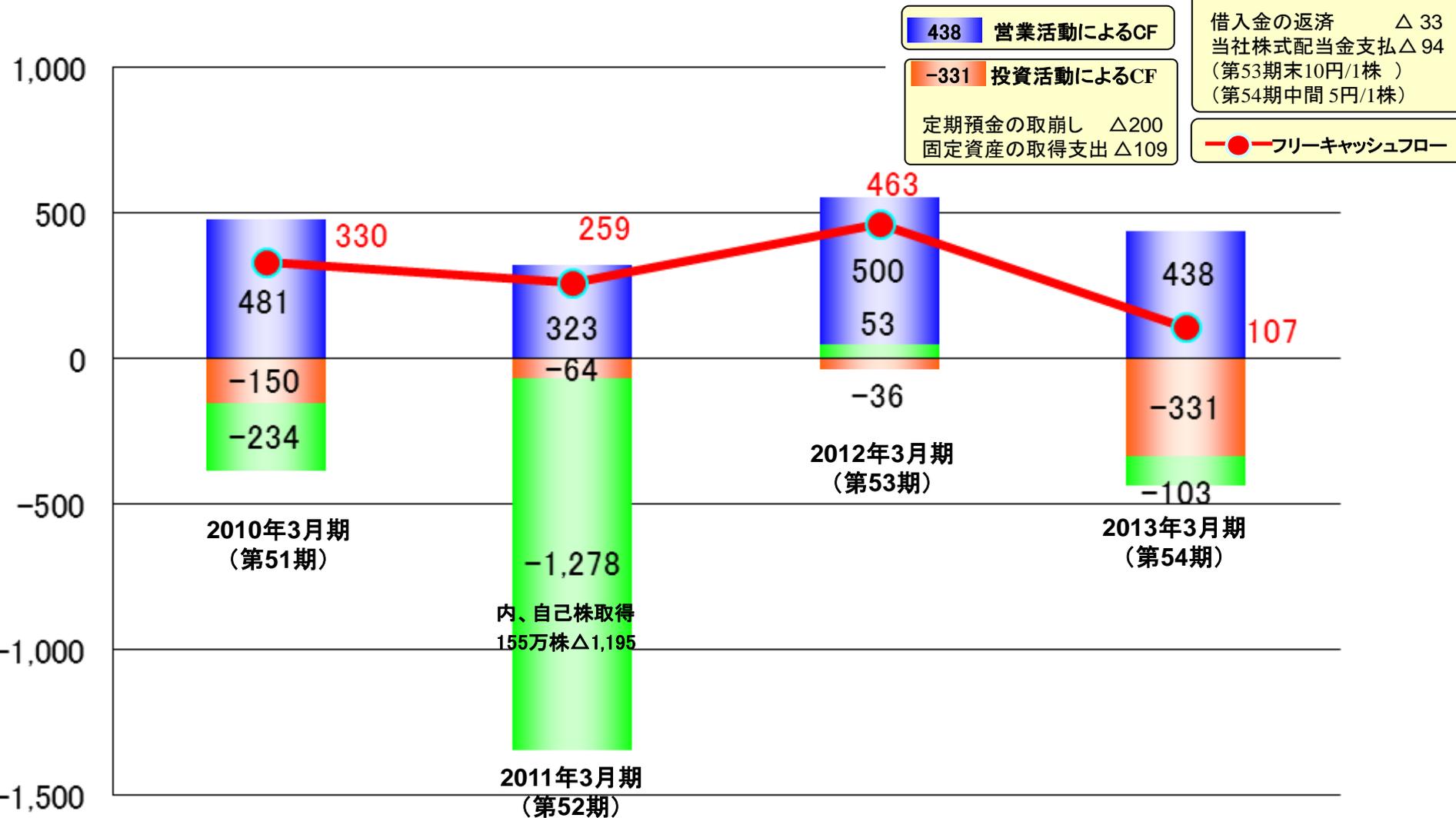
単位(百万円)



2013年3月期 業績(キャッシュフロー)

単位:百万円

2010年3月期(第51期) - 2013年3月期(第54期)



-103 財務活動によるCF
 借入金の返済 Δ 33
 当社株式配当金支払 Δ 94
 (第53期末10円/1株)
 (第54期中間5円/1株)

438 営業活動によるCF

-331 投資活動によるCF
 定期預金の取崩し Δ 200
 固定資産の取得支出 Δ 109

フリーキャッシュフロー

より高速に、より精細に

既存製品のシリーズ強化と利便性追求

組込

Intel 超高速MPUボード シリーズ化

APC-134 シリーズ強化



画像

超高速画像処理ボード

APX-3326 APX-3327



次世代カメラインターフェース 製品強化

CoaX-Press対応 APX-3664



通信

更なる高速アップ・ローコストシリーズを実現

(16Gbit/秒)

APX-782 AGM-782

APX-941 LP4



新規分野への挑戦

Opt-C:Link

光 I/F グラバード **Opt-C:Link**

APX-3800 APX-3881 シリーズ強化

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇔デジタル変換ボード

APX-5040 シリーズ化

Express Converter

スマートグリッド

インテリジェント電源 大容量 シリーズ化

スマートパワーシステム

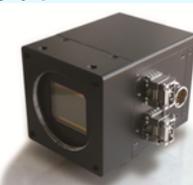


その他

スマートラインカメラ AMLシリーズ

スマートエリアカメラ(開発中) AMA-1262

小型画像システム



FPGA-IPライブラリ

2014年3月期 業績予想

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

品目 / 項目		2014年3月期(第55期) 中間期計画				2014年3月期(第55期) 通期計画			
		連結		個別		連結		個別	
セグメント	品目	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率	売上	前年同期増減率
自社製品	組込モジュール	210	△1.7%	210	△2.0%	460	11.4%	460	8.9%
	画像処理モジュール	250	△18.0%	250	△18.1%	550	12.8%	550	12.8%
	計測通信機器	380	△11.5%	180	△16.2%	860	12.1%	420	27.9%
	自社製品関連商品	70	29.0%	60	25.4%	150	24.6%	130	37.7%
	小計	910	△9.2%	700	△10.5%	2,020	13.0%	1,560	17.0%
受託製品	半導体製造装置関連	875	△3.7%	650	△7.9%	2,035	25.1%	1,510	21.8%
	産業用制御機器	415	11.8%	90	48.9%	805	13.0%	210	85.8%
	計測機器	400	△12.1%	170	△8.1%	840	0.7%	390	17.6%
	小計	1,690	△2.6%	910	△4.3%	3,680	16.0%	2,110	25.3%
売上合計		2,600	△5.0%	1,610	△7.1%	5,700	14.9%	3,670	21.7%
営業利益		45	△53.0%	0	—	265	—	170	—
経常利益		65	△45.6%	35	△59.2%	310	378.1%	225	712.8%
当期純利益		25	△57.8%	20	251.4%	180	914.2%	140	916.6%

売上・利益・投資の推移—実績と予想

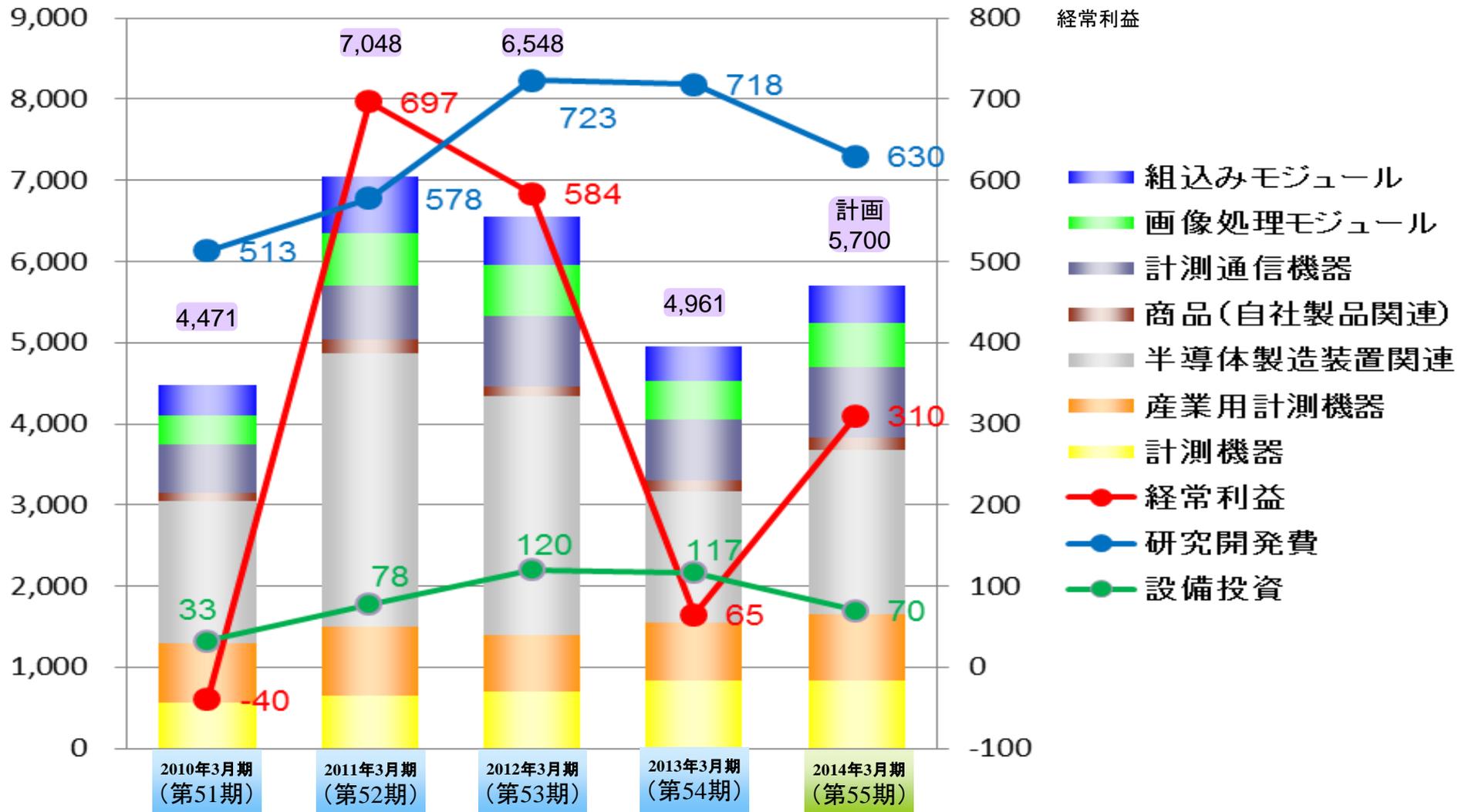
単位:百万円

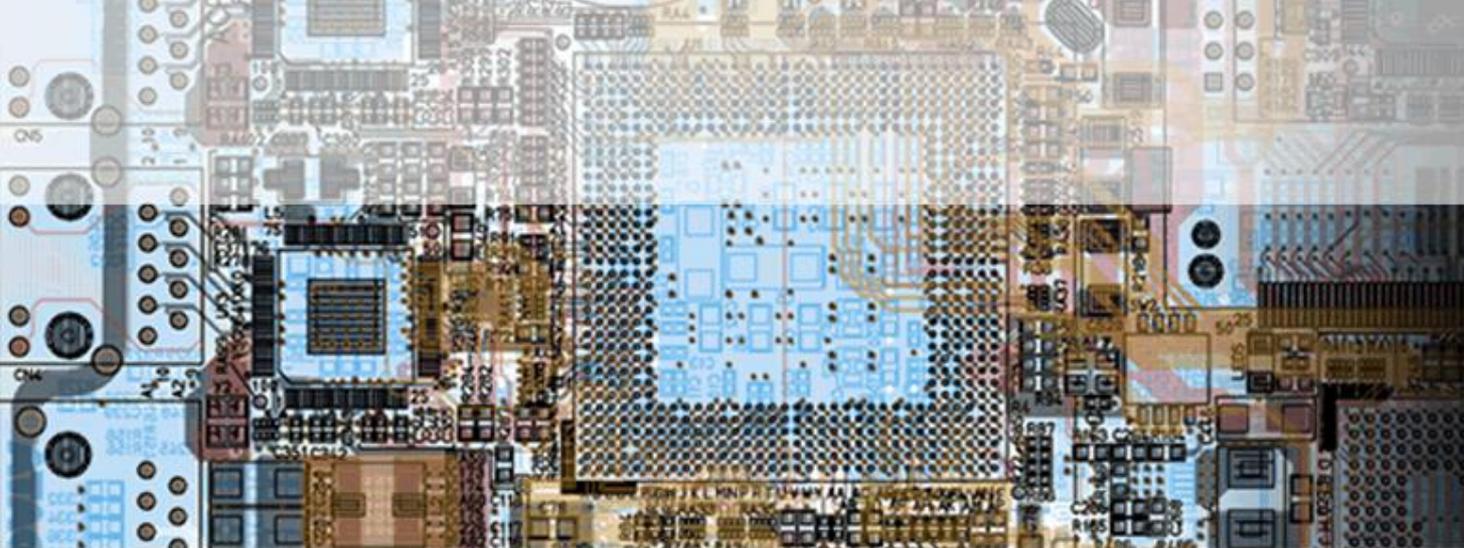
売上

2010年3月期(第51期) — 2014年3月期(第55期:予想)

単位:百万円

経常利益





2013年中期経営計画概要

2014年3月期(第55期)－2016年3月期(第57期)

AaA

actionandachievement

実行と実現

2013年5月16日

中期経営計画 成長のシナリオ

市場回復と予想される組込市場の変化への対応（激変する市場環境への対応と飛躍）

差別化された 新製品



高速アナログ



スマートカメラ

パートナーとの 協業

販売提携

技術提携

海外戦略

システムソリューション

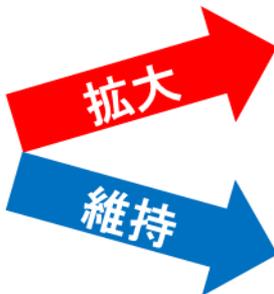


小型画像システム



スマート電源

新しい分野
25%⇒45%



新しい応用分野
(拡大)

メディカル・薬剤
バイオ・食品

検査・製造・計測

パワーソリューション
スマートオフィス/ビル

スマート電源

パワーデバイス
イメージセンサー
LED

検査・製造

車両・船舶・地震
データセンター

インフラ・リモート監視

現在の主力分野
(維持)

半導体/液晶
製造装置

装置・検査

FA用制御装置

装置・検査

CTI・FAXサーバー
コールバッグセンタ

接続・管理

電力・制御装置

監視・計測

新規



市場



既存

【新たな分野への挑戦】

医療系

OCT 歯科、眼科 (AD/DA)

医療系

X線 PET 内視鏡 (Giga)

食品

ポトリング 果物選別 (画像キャプチャ)

3次元計測装置

新たなアルゴリズムとターゲット調査

画像

【新たな主力分野への展開】

スマート電源

アバール長崎でのシリーズ強化

パワーデバイス テスター装置

AD/DA (ノウハウを持つ会社と協業)

医療機器製造業許可申請

厚木工場の進化

医療機器メーカーへのアプローチ

BTO

隣接

【現在の主力製品】

- ・ 組み込み
- ・ 画像
- ・ 高速通信
- ・ 半導体製造/検査装置
- ・ CTI (アバール長崎)
- ・ リーモート監視 (アバール長崎)

延長

【新たな製品の投入】

組み込み

高速データ保存、 Android+ARM
高速アナログ変換 (1GHz超)

画像

CoaX、 Opt-CL、 GbE
照明、駆動などのシステム統合

高速通信

高速性の追求 (20 Gbps超)
EtherCAT

OPT

既存



要素技術



新規

AaA

action and achievement

実行と実現

アバールグループの新たな飛躍

成長事業の確立

- 製品の差別化・高付加価値強化
- 新分野と新製品の売上向上

体質強化

- 積極的研究開発投資と効率化
- スリムな企業体質

生産性の最大化

- 多様な生産体制の導入
- 業界トップの品質とコスト追求

実行と実現

連結売上

75億円

経常利益率

11%

ROE

10%

連結配当性向

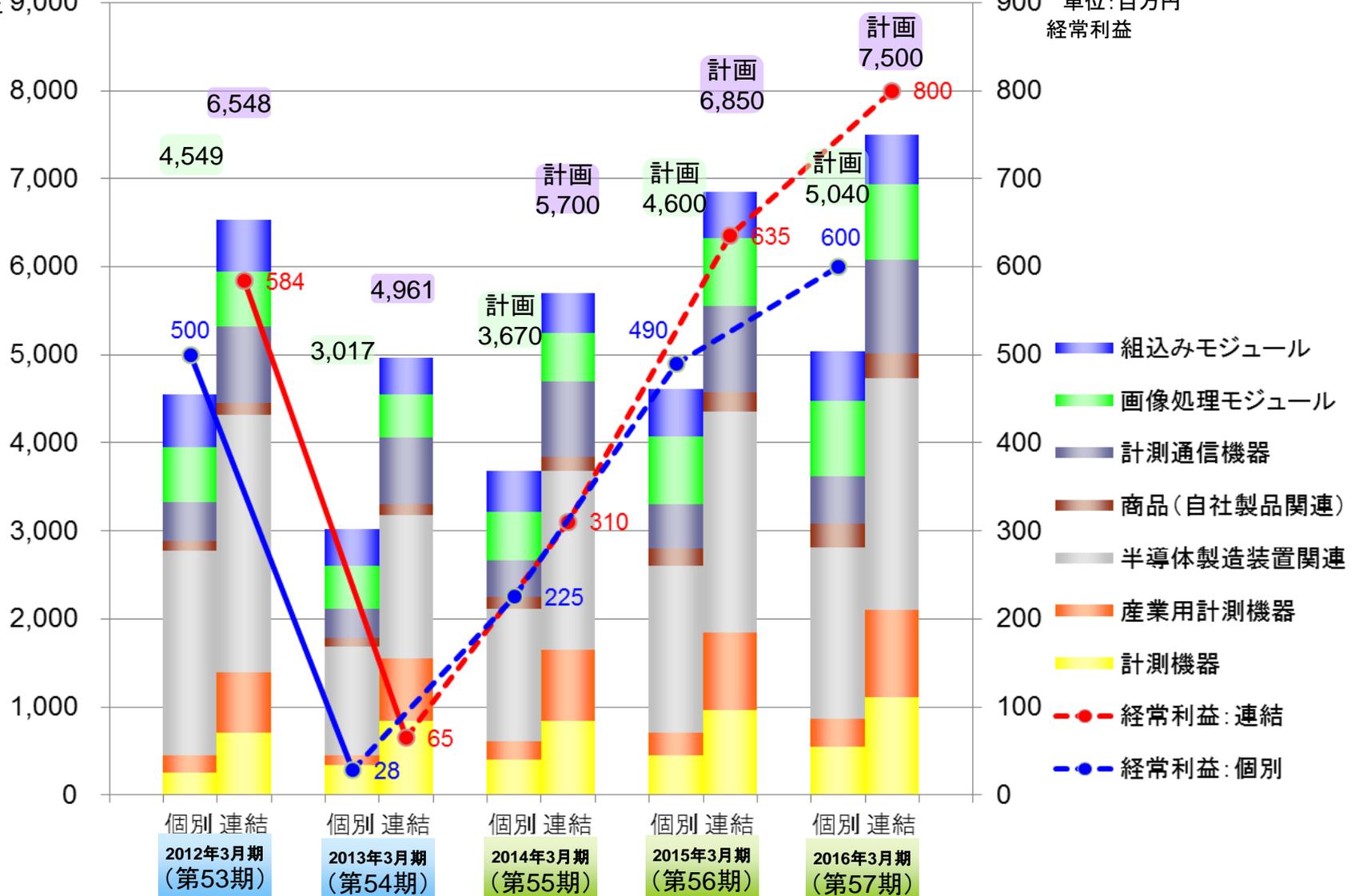
30%

中期品目別売上・利益予想

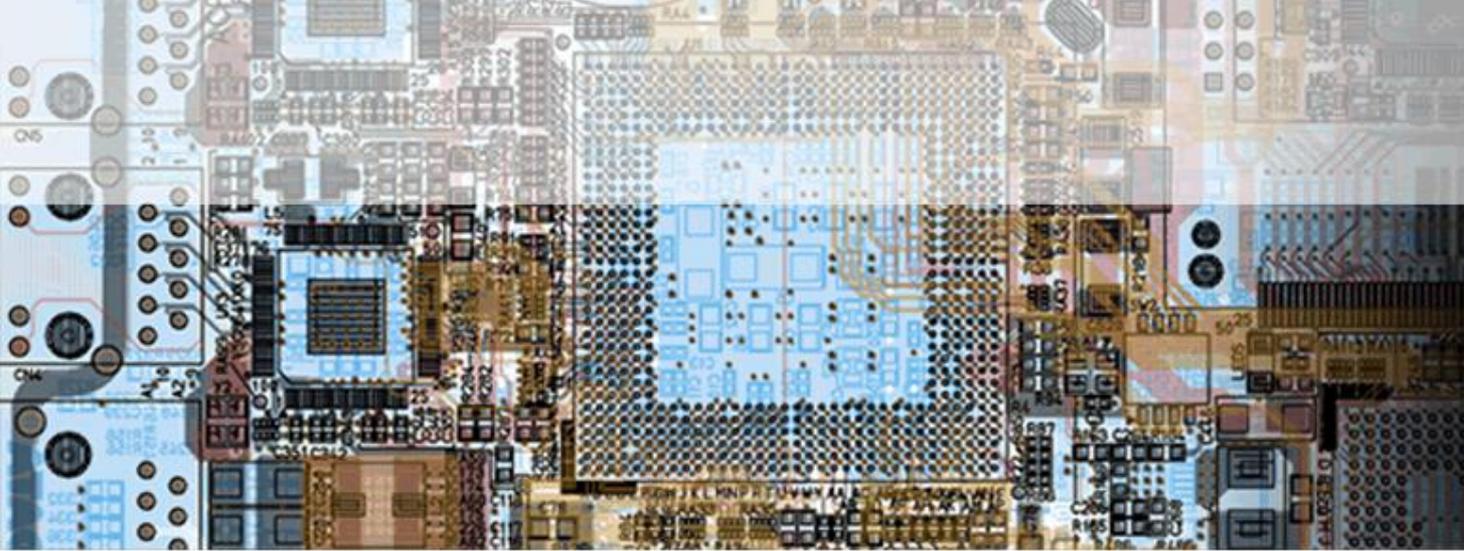
単位:百万円
売上 9,000

2014年3月期(第55期) - 2016年3月期(第57期) 連結・個別

900 単位:百万円
経常利益



実績



参考資料

半導体/液晶製造装置市場と当社売上高

2004年3月期(第45期)－2016年3月期(第57期)

